

九州支部

3. 長期生存例の蓄積により二次癌の発症の増加が予想され、早期発見が重要である。

19. Verapamil との併用化学療法で良好な QOL を得られた肺小細胞癌術後再発患者の 1 例

産業医大第 2 外科・宮崎病院
(北九州市門司区) 齋藤猛彦
産業医大第 2 外科 白日高歩
68 歳男性。肺小細胞癌で右中葉切除、縦隔郭清施行。術後 Verapamil 160mg 4 × p. o. 併用した化学療法及び放射線療法施行。6 ヶ月後右鎖骨上窩、左第 6 肋骨に転移。再度同じ内容で治療するも、腫瘍マーカーは上昇。Verapamil 320mg に増量し、経口エトポシドと併用したところ CEA, NSE とも著明に減少、自他覚所見消失し、約 5 ヶ月の奏効期間を得た。Verapamil の併用で、耐性の消去、抗癌剤の感受性の増強が期待できた。

20. 肺門リンパ節に転移を認めた原発不明小細胞癌の 1 例 久留米第 1 病院外科

山内祥弘, 磯邊 真, 田中真紀
枝国節雄, 柳瀬 晃, 篠崎広嗣
同 内科 小松 滋
久留米大第 1 病理 神代正道
症例は 45 歳, 男性。胸部 X 線単純および断層像で右肺門に 3cm 大の結節状腫瘤影を認め、精査にて肺内病変は認めず、肺門リンパ節の腫大を疑った。開胸術を施行し、# 11 i リンパ節の腫大以外に原発巣を示唆する所見は認めなかった。また、全身検索にて異常所見は認めていない。病理学的に転移性小細胞癌(intermediate cell ca.)が最も考えられた。本症例は極めて稀な TONIMO 肺癌が最も考えられ、若干の文献的考察を加え報

告した。

21. 卵巣奇形腫を合併した若年者肺小細胞癌の 1 例

佐世保中央病院外科 碓 秀樹
木戸川秀生, 中村 徹
河部英明, 石橋経久, 菅村洋治
國崎忠臣, 鳥越敏明
佐世保市立総合病院内科

浅井貞宏, 荒木 潤
長崎大原研病理 関根一郎
患者は 26 歳, 女性。10, 20, 25 歳時に卵巣未熟奇形腫にて手術。左前胸部痛を主訴に来院左 S⁵ に 3 × 2cm の腫瘤影と少量胸水(+). 経皮肺生検にて小細胞癌(胸水は Class V)の診断にて CBDCA, VP-16, VCR を 2 クール施行するも MR(胸水は消失)で手術施行。少量胸水(Class V)と米粒大~拇指頭大の結節状の胸膜播種を多数認めた。放射線治療は患者が拒否したため、術後は CPT-11 による化学療法を施行したが効果なく術後約 6 ヶ月目に死亡した。

22. 最近 2 年間ににおける肺癌を主とした重複癌の臨床的検討

国立長崎中央病院呼吸器内科
山崎一美, 伊藤美和, 湯沢浩之
安藤弘子, 伊藤 茂, 市川辰樹
河本定則, 布広龍也, 峯 豊
最近 2 年間に当院で経験した肺癌 104 例中重複癌をみたものは 12 例(11.5%)であった。12 例の内訳は、60~77 歳, 男性 9 例, 女性 3 例。組織型は扁平上皮癌 5 例, 腺癌 3 例, 小細胞癌 4 例で外的因子の影響を受け易い扁平上皮癌, 小細胞癌に多い傾向があった。重複した癌は、肺癌 4 例, 胃癌 3 例, 直腸癌 2 例, 膀胱癌 2 例, 腎臓癌 1 例。また同時発生(1 年以内発生) 7 例, 異時発生(1 年以上発生) 5 例であったが、とくに 2 年以内

発生についてみると 12 例中 11 例であった。また癌家族歴を有する者 5 例, 喫煙指数 1000 以上が 7 例といずれも高頻度で、特に肺多発癌 4 例いずれも喫煙指数は 1000 を越えていた。

23. 多発肺癌の臨床的検討

宮崎医大第 2 外科 白間康博
松崎泰憲, 吉岡 誠, 井上正邦
山本 淳, 関屋 亮, 鬼塚敏男
柴田紘一郎, 古賀保範
当科の多発肺癌は原発性肺癌 538 例中 8 例で、男性 4 例女性 4 例で、また同時性 7 例異時性 1 例だった。最長生存例は 35 ヶ月で、肺機能上及び手術術式上の制約により絶対的治療手術例は少なく、術後の全身管理が望まれる。

24. 肺癌切除後 3 年生存例の検討

国立嬉野病院外科
吾妻康次, 木田晴海, 新海清人
本庄誠司, 林田 謙, 寺田隆介
同 内科 神田哲郎
石黒美矢子, 松瀬厚人
肺癌切除 42 例中術後 3 年生存 21 例(50%)で組織型は腺癌 14 例, 扁平上皮癌 5 例, その他 2 例。n₀: 15 例, n₁: 2 例, n₂: 4 例, I 期: 12 例, II 期: 1 例, IIIa 期: 7 例, IV 期: 1 例で、絶対治癒 12 例, 相治癒 6 例, 相非治癒 1 例(区域切除), 絶対治癒 2 例(癌残存)であった。再発は肺に 3 例, 胸膜に 2 例みられた。

25. 当院における原発性肺癌 256 例の検討

佐賀県立病院好生館外科
石田博徳, 古川次男, 米村智弘
吉田猛朗
1982 年より 10 年間ににおける原発性肺癌手術例 256 例について検討した。男 178 例(70%), 女 79 例(30%)で、腺癌 140 例(55%), 扁平上皮癌 74 例